

2022年11月11日

Honda の米国現地法人であるアメリカン・ホンダモーター（本社：カリフォルニア州トーランス 社長：貝原 典也）は、現地時間 2022 年 11 月 10 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

<ご参考>

北米向け新型「ACCORD」を発表

Honda は、北米で 2023 年年初に発売を予定している新型「ACCORD（アコード）」を発表しました。

北米で 11 代目となる新型アコードは、より進化した 2 モーター式ハイブリッドシステムでスムーズかつ上質な走りを実現するとともに、最新のコネクティビティと安全運転支援技術を搭載した新世代のミッドサイズセダンとして開発されました。

エクステリアは、流麗で洗練された全く新しいスタイリングを採用。インテリアは、統一感のあるコーディネートに上質な処理・仕上げを行い、心地良くくつろげる室内空間を提供します。

最上位のグレードには、Honda として初採用となる車載向けコネクテッドサービス Google built-in（グーグル ビルトイン）を搭載し、車内で使用するさまざまな機能がシームレスに操作可能となります。

パワートレーンは、2.0L ハイブリッドシステムと 1.5L 直列 4 気筒 DOHC 直噴ターボエンジンを用意。スムーズで上質なドライビングダイナミクスを提供します。

さらに安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダ センシング）」の機能を刷新し、先進の予防安全技術をお客様に提供します。

北米向け新型アコードは、ハイブリッドを含め、全て米国・オハイオ州メアリスビル工場で生産されます。



北米向け新型アコード

【北米向け新型アコードの主な特長】

■ 流麗で洗練された全く新しいスタイリング

- ・長くすっきりとしたボディラインに、シャープなグリルとブラックアウト化させた LED ヘッドライトが力強いフロントエンドを表現
- ・全長に対して後ろ寄りに配置されたキャビンと傾斜したリアピラーにより、のびやかで動きのあるスリークなシルエットを表現
- ・従来モデルよりも 2.8 インチ（約 70mm）伸びた全長とシャープなキャラクターラインが躍動感を演出。リアのトレッドも 0.4 インチ（約 10mm）広くしたことで、幅広で安定感のあるスタイリングを表現

■ スポーティーでモダンなインテリア

- ・クラストップレベルの乗員空間を実現※
- ・開放的なキャビン、ノイズの少ない優れた前方視界を実現

※ Honda 調べ

■ ドライバーに焦点を当てた直感的に操作できるインターフェースとコネクティビティ

- ・独自の表示機能を持つ 10.2 インチのデジタルメーター・パネルを標準装備
- ・ハイブリッド車には、Honda 史上最大の 12.3 インチのタッチスクリーンを設け、最上位モデルには最新のアプリやサービスを搭載した Google built-in（グーグル ビルトイン）を Honda として初めて搭載。
ナビゲーション、交通情報のアップデート、音声操作によるエアコンの温度設定などが可能
- ・OS やアプリなどのソフトウェアの更新は OTA（Over the Air）によって可能

■ パワートレインは 2.0L ハイブリッドシステムと 1.5L 直列 4 気筒 DOHC 直噴ターボエンジンを用意

- ・駆動用モーターと発電用モーターを搭載した 2 モーター式ハイブリッドシステムの改良とともに、新型 2.0L 直噴エンジンを採用し、よりパワフルな走りを実現
- ・ハイブリッド車には、走りのカスタマイズを可能にする Individual モードを新たに設定
- ・1.5L ターボエンジン用の無段変速機（CVT）の騒音や振動を低減させるとともに、CVT 制御をリファインし、ドライバーの意思に寄り添う爽快な走りを提供

■ 先進の安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダ センシング）」を標準装備

- ・Honda SENSING のシステムの性能向上に向け、新たに視野角 90 度のカメラと視野角 120 度の広角レーダーを採用。検知範囲の広角化により、車両や歩行者だけでなく自動車や二輪車に対しても認識能力を向上。また、白線、縁石などの道路境界線や道路標識などの認識能力や、アコードでは初搭載となるトラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）を追加し、衝突防止性能も向上

新型アコードは、北米以外でも日本を含めたグローバルで販売が予定されています。装備仕様などについては各地域で異なるため、今後の各地域での詳細発表にご期待ください。